

# 前橋市社会福祉審議会 第6回高齢者福祉専門分科会 議事録

◆ 日 時 平成29年10月26日(木) 午後2時00分～午後3時30分

◆ 場 所 前橋市役所 11階 北会議室

◆ <出席者> 14人(敬称略)

委員：◎山田浩史 (群馬県老人福祉施設協議会 中毛ブロック)  
○戸所仁治 (群馬弁護士会)  
牛久保美津子 (群馬大学大学院)  
仲道宗弘 (群馬司法書士会)  
小中俊太郎 (前橋市医師会)  
西野郁生 (前橋市歯科医師会)  
荻原京子 (群馬県看護協会)  
塚田昌志 (前橋市社会福祉協議会)  
白石高士 (前橋市老人クラブ連合会)  
山田彰子 (前橋市民生委員・児童委員連絡協議会)  
高玉真光 (群馬県老人保健施設協会)  
野中和英 (群馬県介護支援専門員連絡協会 前橋圏域支部)  
武井謙介 (群馬県在宅福祉サービス事業者協議会)  
青木由紀子 (公募委員)

<欠席者> 2人

齊藤清次 (公募委員)  
簗輪欣房 (公募委員)

◎=分科会長 ○=職務代理者

<傍聴者> 1人

- ◆ 議事内容
- 1 開会
  - 2 あいさつ
  - 3 議事
    - (1) 第7期まえばしスマイルプランにおける地域の傾向と課題について
    - (2) 居宅介護支援事業所アンケート調査の結果について
    - (3) 第7期まえばしスマイルプランの基盤整備計画について
    - (4) 第7期まえばしスマイルプランの事業項目について
  - 4 その他
  - 5 閉会

◆ 配布資料

- ・資料1 第7期まえばしスマイルプランにおける地域の傾向と課題について
- ・資料1-1 地域ブロック別サービス利用状況等データ集計表
- ・資料2 居宅介護支援事業所アンケート調査の結果について
- ・資料3 第7期まえばしスマイルプランの基盤整備計画について
- ・資料3-1 医療計画との整合性の確保

- ・資料4 第7期まえばしスマイルプランの事業項目について
- ・資料5 平成29年度ひとり暮らし高齢者調査結果について
- ・第10回介護予防まつりinまえばし（チラシ）
- ・健康フェスタinまえばし2017（チラシ2部）

## 1 開 会

塚越介護高齢課長

- ・委員16名中14名の出席により本分科会が成立していることを報告
- ・会議及び会議録が公開であることを報告

## 2 あいさつ

松井福祉部長

## 3 議 事

### （1）第7期まえばしスマイルプランにおける地域の傾向と課題について

- ・資料1及び資料1-1に基づき事務局（黒岩主任）から説明

<質疑等>

（高玉委員）西ブロックには初期集中支援チームを始めとする認知症対応型サービスがあるが、現在は全てのブロックで、各地域包括支援センターがそれぞれ認知症対策を強化しているので、その辺をプランにも書いてほしい。

（事務局）この資料は、各ブロックの特徴的な部分のみを整理したものである。実際に各地域の地域包括支援センターが熱心に取り組んでいただいていることは承知しており、そうした実態も踏まえ、プランの中の認知症対応の部分に盛り込んでいきたい。

（高玉委員）特別養護老人ホームも老人保健施設も、皆さんが思っている以上に空いている。特別養護老人ホームは、入所要件を要介護3以上としたことの影響が大きいと考えられる。要介護2であっても認知症を併発していると対応が大変なので、特別養護老人ホームを利用できるような配慮をお願いしたい。

（事務局）特例入所についても真剣に対応していきたい。本日の議題の後半で、基盤整備計画についての詳細な説明を予定している。

### （2）居宅介護支援事業所アンケート調査の結果について

- ・資料2に基づき事務局（黒岩主任）から説明

<質疑等>

（高玉委員）アンケート調査について、52%の回答率となっている。期間が短かったこともあるのだろうが、もう少し回答が欲しい。期間を延ばし、電話で督促をしてはどうか。

（事務局）今後工夫させていただく。

（戸所委員）利用者の状況の円グラフについて、括弧のなかのn=1143とあるのは、利用者のうち、サ高住に入居している方の構成ということだと思うが、全体との関係性が分かりづらい。

（事務局）誤解を招く表記で申し訳ない。以後、表現の仕方等について工夫したい。

(3) 第7期まえばしスマイルプランの基盤整備計画について

・資料3及び資料3-1に基づき事務局（笹本課長補佐）から説明

(武井委員) 地域密着型サービスのうち小規模多機能型居宅介護は、第6期期間中に3か所を整備し、第7期期間にも2か所整備することになっているが、既存事業所は定員に対してどのくらいの登録があるのか。

(事務局) 登録定員29名に対して概ね20名程度の登録があり、定員いっぱいではないものの、着実に登録者が増えている。既存事業所の利用促進を図りながら、整備を進めたい。

(山田会長) 本日ご提示した基盤整備計画について、ご承認いただけるか。

(委員一同) 了承。

(4) 第7期まえばしスマイルプランの事業項目について

資料4に基づき事務局（吉澤副主幹）から説明

<特に質疑等なし>

## 5 その他

○平成29年度ひとり暮らし高齢者調査結果について

・資料5に基づき事務局（望月係長）から説明

(高玉委員) 救急等の現場では、出身も住民票の登録も前橋市ではないが、実態として長く前橋市に住んでいるというケースが最も対応に困る。このひとり暮らし調査の対象にはそのような方も含まれるか、前橋市に住民票がある人のみとなっているのはいか。前橋市に住民票がなくても実態として前橋市に住んでいる方への対応も必要となるため、その実態も把握できるように工夫をお願いしたい。

(事務局) この調査では、住民票上のひとり暮らしの中から、民生委員の方に訪問して調査をしていただいている。個別にそういったケースがあれば、ご連絡いただければ対応できる。このほかにも、マンション等入りにくい場所があり、民生委員の皆様もご苦労されていることは認識している。民生委員の負担がなるべく減るよう工夫したい。

(仲道委員) ひとり暮らしの方の割合等の統計は、町ごとに集計されているのか。

(事務局) 統計として把握しているので、次回の会議に参考資料としてご提示したい。

(野中委員) 資料5では南橋地域のひとり暮らし高齢者の人数が多いが、資料1では北ブロックは子どもとの同居が多いとなっている。これは、南橋地区はひとり暮らしが多いが、芳賀地区と富士見地区は子どもとの同居が多いということだと思われる。先ほどの定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備方針で地域を指定しないで公募をするとあったが、それについてはいいと思う。しかし、日ごろの経験から考えると、定期巡回・随時対応型訪問介護看護はひとり暮らしの方には有効だが、家族と同居の場合は家族も気を遣ったり、夜中に人が来ることで寝不足等になってしまうため、施設入所を選択する機会が多いように思う。定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、ひとり暮らしの多い地域をある程度頭に入れながら募集した方がより有効なサービスにつながると思う。

(事務局) 募集時の参考としたい。

○健康フェスタ in まえばし（市民公開講座）、介護予防まつり in まえばしの紹介

○次回の開催について（平成29年12月21日（木）午後より開催予定）  
事務局（笹本課長補佐）から説明

6 閉会